

■■ 化学療法投与計画書《VNR+CDDP療法》■■

実施日	
-----	--

患者番号	性別	身長	cm	
カナ氏名	生年月日	体重	kg	指示医
患者氏名	年齢	体表面積	m <sup>2</sup>	

Rp)ビノレルビン(ナベルビン) 25mg/m<sup>2</sup> day1,8  
 シスプラチン(ランダ) 80mg/m<sup>2</sup> day1

4週毎

アプレピタント125mg1カプセル内服(シスプラチン投与開始1~1.5時間前)

<b>本管①</b> Day1 KN3号輸液 500mL 1 袋 120分	レジメンコメント1  レジメンコメント2
<b>側管①</b> KN3号開始105分後15分かけて パロノセトロン点滴静注 バッグ0.75mg 50mL 1 袋 デカドロン注射液1.65m 4 管 15分	●アプレピタントカプセル Day1 125mg (シスプラチン投与開始1~1.5時間前) Day2,3 80mg
<b>本管②</b> 大塚生食注 500mL 1 袋 120分	
<b>側管②</b> 大塚食塩注開始時10分かけて 【50mL】生理食塩液 50mL 1 瓶 ビノレルビン酒石酸塩 mg ナベルビン注40 40mg4mL: ナベルビン注10 10mg1mL: 10分	<b>側管③</b> 大塚食塩注開始時120分かけて※遮光※ 【mL】大塚生食注 500mL mL シスプラチン mg ランダ注50mg/100mL: ランダ注10mg/20mL: 120分
<b>本管③</b> 大塚生食注 500mL 1 袋 120分	<b>側管④</b> シスプラチン終了時240分かけて 20%マンニトール注射液 1 瓶 240分
<b>本管④</b> 大塚生食注 500mL 1 袋 120分	<注意すべき副作用> ●食欲不振、吐き気 ●血管痛、静脈炎 ●口内炎 ●脱毛(頭髪、まつ毛、眉毛など) ●手足のしびれ ●白血球減少 ●赤血球減少(貧血) ●血小板減少 ●腎機能低下
<b>本管⑤</b> KN3号輸液 500mL 1 袋 120分	
<b>本管⑥</b> KN3号輸液 500mL 1 袋 120分	
(本管⑥) KN3号輸液 500mL 1 袋 120分	

Day2へ続く

<実施時の注意点>

漏出時:直ちに投与を中止し、薬剤を吸引、洗浄し、ステロイドの局注、ステロイドの外用剤で対処する。

ビノレルビン:血管痛、静脈炎を起こすことがあるので、注射部位、注射方法等に十分注意し、投与後は補液等

により薬液を十分洗い流すこと。

シスプラチン:アルミニウムを含む医療器具を用いないこと。

光により分解するので直射日光を避けること。点滴時間が長時間に及ぶ場合には遮光して投与すること。

投与当日は1日3000mL以上の尿量を確保。投与後3日間は1日1500mL以上の尿量を確保する

<用量規制因子>

投与前の白血球数が2000/mm<sup>3</sup>未満であった場合には投与を延期し、2000/mm<sup>3</sup>以上に回復するのを待って投与する。